

表 8-5-2-2 (3) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況

地点番号	調査地点	調査項目	調査結果の概況
03	天竜川親水施設 (高森町)	分布	カヌーハウス、親水公園等が高森町の天竜川に架かる明神橋付近にある。カヌーやウォーターチューブで利用される範囲は、高森町から豊丘村、喬木村、飯田市にまたがっている。
		利用の状況	天竜川親水施設周辺の河川敷にはマレットゴルフ場もあり、地域住民の利用がある。また、親水施設は地元の住民による利用が中心であるものの、カヌー競技大会、ウォーターチューブ大会等のイベントは、県内外からの参加者も多い。 主な交通手段は、自家用車、鉄道、徒歩であり、JR 飯田線市田駅から徒歩約 3 分である。
		利用環境の状況	高森カヌーハウス、親水護岸が整備されており、利用しやすい環境となっている。また、河川敷にはマレットゴルフ場も整備されている。 カヌーやウォーターチューブにより天竜川の河川景観を望むことができる。

現地の状況



平成 24 年 8 月 26 日 (日) 実施の高森カヌー大会での利用状況



親水護岸の利用状況 (1)



親水護岸の利用状況 (2)

キ) 予測結果

各予測地点における主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響の予測結果を表 8-5-2-3 に示す。

**表 8-5-2-3(1) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響の予測結果  
(大西公園)**

予測項目		予測結果
利用性の変化の程度	利用性の変化	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による改変は生じないため、利用の支障が生じる箇所はない。
	到達時間・距離の変化	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行ルート(国道 152 号)から約 300m 離れた場所にあり、施設を利用する車両と資材及び機械の運搬に用いる車両が国道 152 号で合流するものの、車両の運行ルート、配車計画を適切に行うことから、到達時間・距離の変化は小さいものと予測する。
快適性の変化の程度		資材及び機械の運搬に用いる車両の高さは 4m 程度であるが、車両の運行ルート(国道 152 号)は約 300m 以上離れているため、同車両の視認性は低く、快適性の変化は小さいと予測する。

**表 8-5-2-3(2) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響の予測結果  
(県道 253 号(赤石岳公園線))**

予測項目		予測結果
利用性の変化の程度	利用性の変化	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による改変は生じないため、利用の支障が生じる箇所はない。また、工事期間中は必要により登山道として安全な歩行ルートを確認することなどから、利用性の変化は小さいと予測する。
快適性の変化の程度		工事開始後、資材及び機械の運搬に用いる車両が県道 253 号(赤石岳公園線)を通行し、利用者からも視認されることになるものの、B 地区と D 地区の間のトンネルを貫通させ、当該トンネルを用いて、発生土等を D 地区から搬出するルートを確認することで、県道 253 号における資材及び機械の運搬に用いる車両の運行期間及び台数を低減する。また、ストックヤードの活用による車両台数の調整や配車計画を適切に行うことで、資材及び機械の運搬に用いる車両の発生集中交通量を低減し、局所的に集中させないことから、利用者が視認する景観の変化は小さいため、快適性の変化は小さいと予測する。

**表 8-5-2-3(3) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響の予測結果  
(天竜川親水施設)**

予測項目		予測結果
利用性の変化の程度	利用性の変化	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による改変は生じないため、利用の支障が生じる箇所はない。
	到達時間・距離の変化	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行ルート(国道 153 号)から約 500m 離れた場所にあり、施設を利用する車両と資材及び機械の運搬に用いる車両が国道 153 号で合流するものの、車両の運行ルート、配車計画を適切に行うことから、到達時間・距離の変化は小さいものと予測する。
快適性の変化の程度		資材及び機械の運搬に用いる車両の高さは 4m 程度であるが、車両の運行ルート(国道 153 号)は約 500m 以上離れているため、同車両の視認性は低く、快適性の変化は小さいと予測する。